

基本構想に示す「まちづくりの基本目標」(たたき台)

【区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち】

区政の主役は、言うまでもなく新宿区民です。区民が幸せに過ごすことができる、新宿らしい魅力にあふれた生活環境を、区民自身の手で育み、創り出すことのできるまち、それが区民が主役のまち・新宿の望ましい姿です。

多様化する地域の課題に対し、自分達が主体的に考え、自分達自身の選択と行動によって解決することを望む区民も着実に増えています。こうした区民の意欲と創意工夫をまちづくりに生かしていくために、区民主体のまちづくりの理念と仕組みを確立します。また、区民の参画を適切に受け止めることのできる区政運営の体制づくりを進め、区民が自治の主役となるまちを創っていきます。

【だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち】

すべての区民が心豊かにくらすためには、一人ひとりが個人として尊重されることが不可欠です。また、すべての子どもの健やかな育ちと自立を支援し、自分らしい生き方ができるように成長していける環境づくりが必要です。

多様な考え方や生き方などの個性を互いに認め合い、ふれあいや交流の中から、互いの成長を見守り、応援し合う豊かな人と人の関係を育てていきます。区民一人ひとりが、社会の中で役割を担いながら、生涯を通じて自分らしく成長していけるまちを創っていきます。

【だれもが質の高い、安全で安心な暮らしを実感できるまち】

だれもが心安らかにくらししていける環境を確保するためには、地域の人々が自らの手で地域の安全を守り、互いに支え合う取り組みが必要です。また、誰もが生涯にわたって社会に参加できるよう、参加を妨げる要素のない社会環境づくりと、区民が互いに社会参加を支援しあう関係づくりが必要です。

すべての区民が、安全、安心で質の高い生活環境を実感しながら、いきいきとくらすことのできるまちを創っていきます。

【持続可能な都市と環境を創造するまち】

超高齢社会、人口減少社会を迎える中で、今後新宿区のまちづくりが目指す方向性は、地球環境に負荷を与えず、次の世代にも引き継いでいける将来にわたって持続可能な都市と環境を創っていくことです。また、新宿区の多様な経済活動を支えていくために、都市機能の集積とそれを支える都市基盤施設とのバランスをとりつつ、適切な都市の骨格を形成していく必要があります。

都市施設や交通網の整備を促進するとともに、新たな都市のインフラ（基盤）として水辺と森の再生・整備を積極的に進めていきます。また、大地震などの自然災害に対する備えを十分行い、安全・安心なまちを創っていくとともに、資源循環を推進し、環境への負荷をできるだけ抑え、持続可能な都市と環境を創っていきます。

【まちの記憶の再生と美しい新宿を創造するまち】

人々が自然やまちの文化・歴史を身近に感じ、歩くのが楽しくなるようなまちが求められています。経済効率の向上を優先させたまちづくりは、私たちの生活を豊かに便利にしてきましたが、その反面、地域の個性や文化、歴史の記憶が失われつつあります。

新宿のもつ自然の記憶を活かし、歴史的風土や自然環境と調和した街並みの美しさを守り、育てていきます。ゆとりと豊かさを大切にしながら、地域の個性や魅力を十分活かしたまちを創っていきます。

【多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち】

新宿は、古くから今日に至るまで、多くの人たちの働く場として、集いの場として、多様な文化が育まれると同時に、新たな最先端の文化を生み出してきました。

このような都市としての歴史的蓄積やまちのもつ多様性を活かし、新宿が培ってきた文化をさらに成熟させ、風格のある都市文化としての「新宿らしさ」を創造していきます。また、こうした文化や伝統を活かし、国内外との交流を推進していくとともに、新宿ならではの新たな産業を創造し、若者が各地から集い、いきいきと学び、働き、くらすことができる、多様なライフスタイルが交流するまちを創造していきます。